

世界クラスの名門大学で学び、グローバルに活躍できる人に



Trinity Foundation Programme
International Federation of Universities (I.F.U) [FCA・FCB (オンライン)]

International Federation of Universities (I.F.U) について



I.F.U (国際大学連合) はアイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ、英国立セント・アンドリュース大学、英国立バンガー大学、アメリカ私立グリーンビル大学、英国立西イングランド大学、英国立デ・モントフォート大学の6つの大学で構成され、これらの大学に入学を希望する日本人留学生の窓口となる大学直属の機関です。

I.F.U は1980年代後半に、セント・アンドリュース大学元副学長の Stephen Magee 教授と協力し、英国で初の教養学部となるファウンデーション・コース (海外留学生に大学の専門課程で学ぶために必要とされる語学力および基礎教養をつけさせるコース) を設置し、英国でオックスフォード大学、ケンブリッジ大学に次ぐ伝統を持つこの大学に日本人学生が正規入学できるシステムができました。

その後、I.F.U の併設機関であるバンガー大学日本研究所がバンガー大学のファウンデーション・コースを設置し、さらにダブリン大学トリニティカレッジ元国際部長の Ivan Filby 教授 (前グリーンビル大学学長) と協力し、トリニティカレッジへ進学するためのファウンデーション・コース「トリニティ・ファウンデーション・プログラム」を、ダブリンから高速船で90分と近い距離にある英国・バンガー市に設置しました。2004年に Ivan Filby 教授がグリーンビル大学教授 (2013～2020年まで同大学学長を務める) となったことを受け、これら4つの大学すべてのファウンデーションコースを「トリニティ・ファウンデーション・プログラム」が統括して担当することとなり、併せてI.F.U は日本人留学生募集・入学試験等も行う包括的な機関となりました。さらに、2019年4月より英国立西イングランド大学と英国立デ・モントフォート大学が加わることで、デザインやファッションといった芸術系学部や国際関係学部などへの進級も可能となり、幅広い希望を持つ学生を受け入れる体制が整いました。

I.F.U ではこのように6大学直属の機関ということをもまえ、これら名門大学への進学を希望する学生の皆さんに対し、あらゆるサポートを行っています。

バンガー市長からのメッセージ



Dear Friends,

Bangor is a small, friendly City with a static population of 13,500 that is enhanced by a further 12,000 University students during the academic year. You will find our people to be warm and welcoming.

I am delighted to support the Institute of Japanese Studies, Bangor University and Trinity Foundation Programme in welcoming prospective students to our City. I do hope many of you will consider coming to study at the Trinity Foundation Programme and continue on to our University, Trinity College or other English speaking University.

Many students who have studied at the Trinity Foundation Programme have said that they are very sad to leave Bangor because it has been such a wonderful experience for them and that during their stay they were able to practise and perfect their command of the English language. I can assure you that you will be very well looked after by the Institute of Japanese Studies, by the Trinity Foundation Programme and by your host families.

I do hope you will decide to visit Bangor in the not too distant future where you will find a traditional Welsh welcome awaits you.

With all good wishes,

Jean Forsyth, 90th Mayor of Bangor

バンガーは定常人口13,500人、大学の学期中は12,000人の大学生によって人口が増える小規模な親しみのある町です。バンガーの市民がみなさんを温かく迎えてくださることに、きっと気づくでしょう。

新しい学生を迎え入れるバンガー大学日本研究所、トリニティ・ファウンデーション・プログラムのサポートをできることを大変嬉しく思います。多くの学生がトリニティ・ファウンデーション・プログラムに続き、私たちの大学、ダブリン大学トリニティ、その他英語圏大学で学ぶことを考えていただけののを願っています。

トリニティ・ファウンデーション・プログラムで学んだ多くの学生が、「バンガーでの生活はとて素晴らしい経験で、滞在中に英語を使う機会が常にあり、英語を自在に使いこなせる力を得ることができた。バンガーを去るのは非常に良かった」と言っています。

日本研究所、トリニティ・ファウンデーション・プログラムやホストファミリーの皆さんが、親身になって尽力して下さることを、私はここに保障します。

伝統的なウェールズの温かい歓迎で溢れたバンガーに、みなさんが近い未来に訪れてくれる事を心待ちにしています。

With all good wishes,

第90代バンガー市長 Jean Forsyth

理事長あいさつ



I.F.U (国際大学連合) 提携6大学のような名門校で外国人が学んでいくには、大変な努力が必要とされるでしょう。だからこそ卒業するときは、大きな成果を挙げ、精神的に自立した自分に気づき、そして人生の中で最も活動的な時期を有意義に過ごしたことを実感できるはずです。

グローバル化が進んでいる現在、企業(世界)が求めている人材は、『言語を使いこなせる技巧を持っていること』と、『精神的に自立している』ということです。異国の地で各国の学生と肩を並べ歩んできたあなたは、この両方を手に入れることが出来るはずです。一生に一度、自分にかけてみてください。きっと新しい門戸が開かれると信じています。

皆さんの成功の為、可能な限りのサポートを提供します。希望に満ちあふれた皆さんに会える日を楽しみにしています。

砂田恭美

I.F.U (国際大学連合) 理事長
ダブリン大学トリニティカレッジ教養学部長
バンガー大学日本研究所所長



University
of
St Andrews

University of St. Andrews

英国立セント・アンドリュース大学



—創立約 600 年、英国皇室がはじめて選んだスコットランド最古の名門校—
—The Times and Sunday Times Good University Guide 2022 英国大学ランキング 1 位
(ケンブリッジ、オックスフォード大学を抜く)—

セント・アンドリュース大学はスコットランドで最も古く、英国でもオックスフォード大学、ケンブリッジ大学に次ぎ 3 番目となる 1413 年設立、ダブリン大学トリニティカレッジと同じく「英語圏最古の 7 大学 (Ancient Universities)」の一つに入る、歴史と伝統を持つ由緒ある名門大学です。何世紀にも渡って、スコットランドの優秀な学問の伝統を受け継いでおり、今日でも、その教育・研究は英国の優秀大学の中でもトップクラスに挙げられます。セント・アンドリュース大学は、哲学者ウィリアム・ウォレス (イギリスにおけるヘーゲル主義者として知られ、イギリス哲学の伝統といえる経験論に対向する観念論を研究) など多数の著名人を輩出しています。

学部では、歴史学、心理学、国際関係学、社会人類学等の文系の学部が人気があります。

また、ウィリアム王子が 2005 年にご卒業された大学としても有名です。ウィリアム王子は在学中にはセント・アンドリュースの町が目立たないアパートに暮らすなど庶民的な生活を心がけ、また近くのエディンバラの街でもよく見かけられたそうです。ウィリアム王子は卒業時に大学院の入学資格もあるとみなされる "Upper Second" という優秀なランクの成績を取得されました (王子の成績はこれまでの英王室の中では最高)。セント・アンドリュース大学は、英国皇室継承者が初めて自分で選んだ大学としても、さらに有名になりました。



Stephen Magee

Vice-Principal,
University
of St. Andrews

セント・アンドリュース
大学 副学長

We have a long history of welcoming Japanese students to the University of St. Andrews and so we are able to offer specific support to ensure that you have a very happy and successful student life. We are extremely proud of the achievements of our Japanese students.

Teaching at St. Andrews began in 1413 and we still benefit from our mediaeval origins. On the other hand we have cutting edge facilities represent uncompromising academic excellence. The University has a worldwide reputation for excellence in teaching and research.

We have a very strong spirit of community at St. Andrews. Students and staff live and study in a small historic town and so there is a real spirit of loyalty and support, which lasts well beyond the years a student spends in our midst. While St. Andrews is a safe and very atmospheric place to stay, we are remarkably cosmopolitan; our students come from all parts of the U.K and from almost 100 other countries; some 30% of our students do not come from the UK.

We hope that you will choose to join our scholarly community, as you will have the opportunity to enjoy an excellent education alongside a very rich cultural and social life.

セント・アンドリュース大学は、長い間日本人学生を迎えてきました。そのため、あなたが非常に充実した素晴らしい学生生活を送ることができるように徹底したサポートをおこなっています。また、我々は日本人学生の業績を非常に誇りに感じています。

セント・アンドリュース大学は 1413 年に始まり、我々は今でも中世の歴史の恩恵を受けています。その一方で、最先端の施設を持ち、妥協を許さない高度な學術レベルを保っています。セント・アンドリュース大学はその教育方法と研究で世界的な評価を得ているのです。

セント・アンドリュースには、非常に繋がり強い地域社会精神があります。学生とスタッフは共に小さな歴史的情緒のある街で生活し、勉学に励みます。そして、その共有した時間は、学生と共に過ごした時間を越えてもなお、我々の心の中に刻まれ続けます。一方でセント・アンドリュースは安全で非常に趣のある街です。また、セント・アンドリュースはとて国際色豊かな街でもあります。学生は英国全土、そして約 100 カ国もの国々から訪れます。学生の 30% は英国以外の国々から訪れ、勉学に励んでいます。

あなたが我々のコースを選択してくれることを心待ちにしています。そして、とても充実した文化的、社会的な生活のもと素晴らしい教育を受けられることでしょう。



Bangor University

英国立バンガー大学



—大学の世界では稀な、教育と研究の両分野において英国で上位。学生満足度調査では毎年全英トップクラスを維持—
—The Times 紙 World University Rankings 2018 で世界ランキング 301 - 350 位—
※ 同位に名古屋大学、351 - 400 位に九州大学、401 - 450 位に北海道大学、筑波大学

英国立バンガー大学は、英国で長い歴史と伝統を誇る大学の一つで、1884 年にウェールズで最初に設立が認められ、翌年に英国王室に認定されました。数年前まで環境弁護士としても活躍していた Sir George Meyrick 准男爵を総長に、コンピューターサイエンスと数学の世界で活躍され英国王立工協会員に認定されている Edmund Burke 博士を学長とする総合大学です。

バンガー大学は、北ウェールズの海岸沿いにあるバンガー市にあります。専門課程コースはバラエティに富んでいて、中でも農学、森林学、環境学、動物学、心理学、犯罪学、スポーツ科学などが有名です。特に海洋生物学は世界一の研究レベルを誇ると言われています。また、ほとんどの学士号が 3 年で取得できます。

The Times 紙が発表する世界レベルの大学 400 に常にランクインし、ランキングは 300-350 位群を保っています。2006 年度 Sunday Times 紙にて学生の満足度調査結果全英 1 位に輝きました。バンガーの学生たちは温かな地元の人々に囲まれ、のびのびと生活する環境が整っており、学園都市として一番すごしやすい最高の場所であるといえるのではないのでしょうか。

ウェールズの大学では 3 年制をとっています。バンガー大学では、ほとんどの学部は 3 年で卒業となります。日本では通常学位取得に 4 年かかるため、時間面、経済面を考えると日本人学生にとって好ましい条件がそろっています。



There are many advantages to studying at Bangor University. Bangor is situated in an area of outstanding natural beauty and there is a very special atmosphere in what is very much a student city. A recent assessment of the quality of research at UK universities confirms Bangor's status as a world class research institution and we have a long tradition of academic excellence.

Bangor is a safe and friendly place to live. Crime-rates are amongst the lowest in the UK and as it is a compact city - university buildings, accommodation and city centre are all within safe walking distance. It is not an industrialized city, pollution levels are low, so it is a clean and healthy place to live.

We are very proud that our teaching is rated 'outstanding' and among the best in the UK, and our own students consistently put us in the Top 10 for student satisfaction and that our Welfare and Student Services were recently shortlisted for a National Award for Outstanding Student Support. From the moment you arrive, you will be given as much help and support as you need with welfare matters, as well as your academic work. You will therefore feel at home very quickly in your new environment. Our first foundation course was created especially for Japanese students and so we have a very good understanding of your needs.

We offer a very unique learning experience in an excellent environment and we would be delighted if you are able to join us at Bangor University.

バンガー大学で勉学に励むことには、たくさんの利点があります。バンガーは壮大な美しい自然のある地域に位置しています。そして、そこにはまさに学生の街と言えるような非常に特別な雰囲気があります。最近行われた、英国の大学の水準調査の結果として、バンガーは世界クラスの研究機関であるという評価を得ました。また学術面での素晴らしさにおいても長い伝統があります。

バンガーは安全で親しみやすい街です。また、犯罪率においては英国内では最も低く、大学の建物、住居、シティセンター等は全て安全な徒歩圏内と、とてもコンパクトな街でもあります。バンガーは工業地域でないため、公害も少なく、生活するにはとてもきれいで、安全な街です。

当大学の教育指導が、英国内において最優秀の評価を頂いたことを大変誇りに思っております。また、当在学学生から、例年、学生満足度において高い評価を受けており、バンガー大学は学生満足度英国トップ 10 に入っています。福祉と学生へのサービスでは最近、国内の賞において、最優秀学生サポート賞の最終候補にノミネートされました。あなたがバンガーに足を踏み入れたその瞬間から、学術面と同様に福祉面においても、あなたが必要としている援助やサポートを受けることができるので、新しい環境にもすぐに馴染むことができることでしょう。バンガー大学における最初のファウンデーション・コースは、日本人学生のために特別に設立されました。そのため、我々は日本人学生のニーズを理解しています。

我々は、質の高い環境のもと、独自の勉強法を取り入れています。そして、あなたをバンガー大学に迎える日を心待ちにしています。

Professor Edmund Burke

Vice-Chancellor,
Bangor University

バンガー大学 学長



TRINITY
COLLEGE
DUBLIN

Trinity College, University of Dublin

アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ



—アイルランド共和国の最高学府。偉大な著名人を輩出する名門大学—

—QS 2018 の分野別世界ランキングでトップ50に4つの分野がランクイン（英語と英文学、古典と古代史、看護学、芸術と人文科学）—

自然と歴史の国、アイルランド共和国。その首都ダブリンの中心に位置するダブリン大学トリニティカレッジは1592年に英国のエリザベスI世により創立され、オックスフォード、ケンブリッジと並んで「英語圏最古の7大学 (Ancient Universities)」の一つに入る伝統ある大学です。アイルランドが1949年に独立するまでは英国の大学であり、同大学を卒業した英国の大学教授の数は、オックスフォード、ケンブリッジに次ぐ多さを誇っていました。英国からの独立後もアイルランド最古の大学であると同時に最高学府であり、45エーカーに及ぶキャンパスは18世紀の建物で構成され、アカデミックな雰囲気が醸し出されています。

『ガリヴァー旅行記』の作者・ジョナサン・スウィフト、オスカー・ワイルドやサミュエル・ベケット等を生み出してきたダブリン大学トリニティカレッジは常に文学と深い関わりを持ち続けていますが、他分野からも初代アイルランド大統領であるダグラス・ハイドや原子核物理学でノーベル賞を受賞したアーネスト・ウォルトンなど数多くの著名人を輩出しています。国際的知名度・学術的水準は非常に高く、アメリカや英国を始め120カ国以上からの学生が魅了され、ダブリン大学トリニティカレッジに集まってきます。卒業時に優秀な成績を修めた学生は、オナーズを取得することができます。オナーズ取得者は3年後、自動的に修士号の学位（文学士号取得者に限る／登録が必要）が授与されます。

大学の基本方針は、400余年を誇る伝統主義を守り続ける一方で、新しいものをつくりだすべく環境作りにあります。独立した考え方を奨励すると同時に、教授～生徒間の親密な関係、異なる学術分野同士の対話を重視。このような中から新しいアイデアへとつながり、新しい学術見解が生まれます。



Jane Ohlmeyer

Vice Provost for Global Relations
Erasmus Smith's Professor
of Modern History,
Trinity College, University of Dublin

国際関係部 副総長
ダブリン大学トリニティカレッジ
近代史エラスムス・スミス席教授

Welcome

I am delighted that you are considering studies with the Trinity Foundation Programme. Studying in this programme will give you the best possible preparation before entering Trinity College, University of Dublin.

The Trinity Foundation programme provides an excellent preparation on your pathway to obtaining a degree from Ireland's leading university, a qualification that is recognized throughout the world and your first step towards a successful career.

On behalf of myself and my colleagues within the International Student Affairs office I would like to wish you every success in your forthcoming studies and look forward to extending a warm welcome to you in Dublin.

ようこそ

トリニティ・ファンデーション・プログラムで学ぶことを考えている貴方を、心より歓迎致します。このプログラムで学ぶことで、ダブリン大学トリニティカレッジ（専門課程）へ進級するための、最高の準備をすることができます。

トリニティ・ファンデーション・プログラムは、将来の成功への第一歩となる、世界中で認められているアイルランドを代表する大学の学位を取得する為の準備を提供いたします。

International Student Affairs Office の職員を代表して、皆さんの今後の学びの成功を祈り、ダブリンで皆さんを迎えることを楽しみにしております。



Greenville University

アメリカ私立グリーンビル大学



グリーンビル大学は敬虔なクリスチャンの大学として有名で、学内では禁煙を行っており、2018年調査会社 Niche によると、キャンパスの安全度において全米4位、イリノイ州で最も安全なキャンパスに選ばれた、非常に治安の良い街の中にある大学です。2017年には Greenville College から Greenville University に名称変更しました。アメリカの大学といえば大規模なイメージが一般的ですが、グリーンビル大学は約1,000人の学生数という小規模でプライベートな大学です。学生11人に対して1人の先生という少人数制の授業が行われ、それぞれの学生には「スーパーバイザー」と呼ばれる先生がつき、単位の取得や進路の相談などを細かく指導しています。こうしたアットホームな雰囲気が、学生たちが安心して学べる環境を築いています。さらに、各学生の希望に合わせて学習内容をカスタマイズするテーラーメイド履修が可能で、自分の興味や目標に合わせてコースを構築できます。この柔軟性が、ドロップアウトする学生がほとんど見られない理由の一つとなっています。

初めの二年間は教養課程コースとなるため、大学に入ってから本当に勉強したい学科を探すことが可能です。また、いろいろな学科があり、幅広く自分の可能性に挑戦することができるといえるでしょう。日本人留学生の多いアメリカのイメージとは違い、日本人の数も少なく、日本人同士日本語で会話をしてしまうということも避けられ、英語を習得するにふさわしい環境にあるといえます。

工学部の3/2および3/3コースは、最初の3年間をグリーンビル大学で学び、その後の2年間もしくは3年間をワシントン大学で過ごすプログラムです。ワシントン大学工学部は全米でも難関のトップ校として知られており、直接入学することは非常に困難です。3/2コースでは、グリーンビル大学で物理学士号を取得し、ワシントン大学で工学士号を取得します。一方、3/3コースでは、それに加えてワシントン大学の工学修士号も取得できます。つまり、3/3コースでは合計で3つの学位を取得することができます。

また、医学部を目指す学生向けに、医学部準備コース(大学院医学部への前期学士号コース)を提供し、充実したサポート体制を整えています。大学院医学部への合格率は90%以上で、高い進学実績を誇っています。



Suzanne Davis

President
of Greenville University

グリーンビル大学学長

Greenville University is located in the heart of Greenville, a small town in Illinois, just 40 minutes from St. Louis, Missouri, and four hours' drive to Chicago. For more than 150 years, higher education of the highest standard has been offered on this site. Our mission has always been to help students develop character and build on their unique strengths to truly make a difference in the world in which we live.

The University is fully accredited by the Higher Learning Commission of the North Central Association; the same body that accredits all universities in our region. Our graduates are very employable and find success in many careers including business, medicine, music, education, journalism, sports administration, science, research, social work, art ... the list goes on and on!

In the United States, it is very common for students to choose a small college or university for their undergraduate studies and then apply to larger universities for graduate work. There are many reasons. First, smaller schools have smaller class sizes, offering students more personal attention and direct access to professors. Secondly, it is easier to get to know other students on a small campus where they are more likely to share multiple classes together. Finally, small universities, including Greenville University, have a successful track record of preparing students for graduate school, engineering school, medical school, and law school.

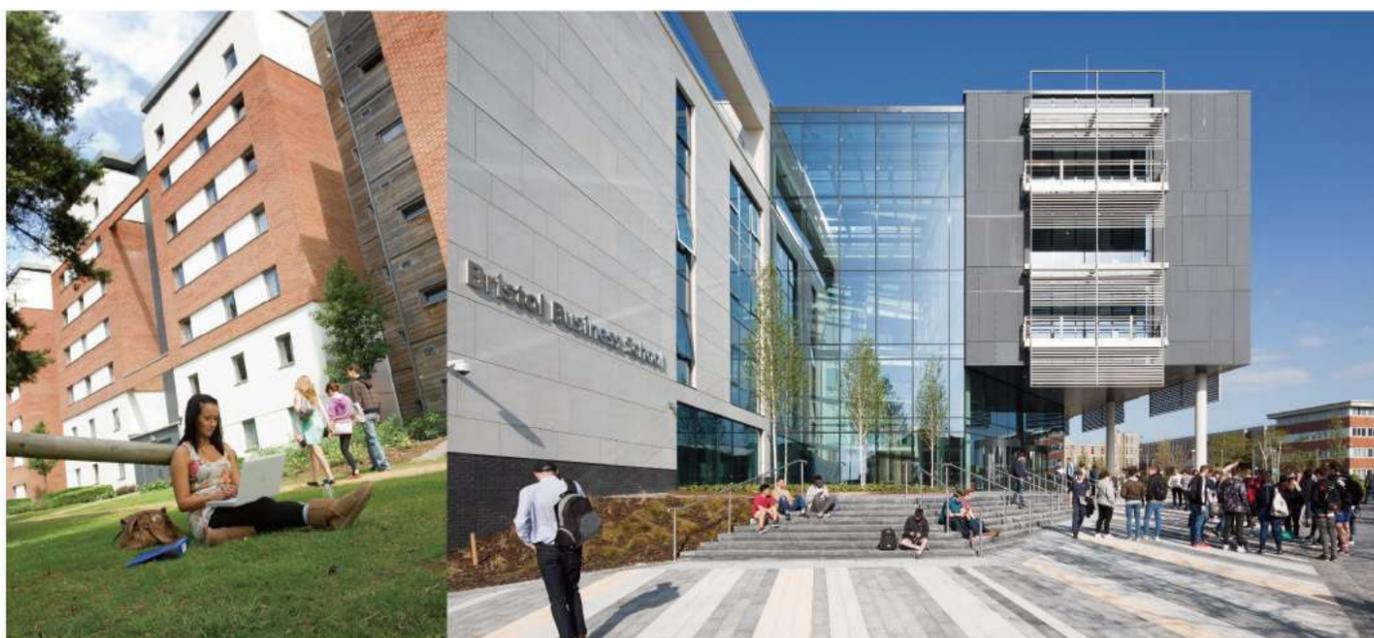
Greenville University is a Christian university, but we welcome all students who are interested in searching for truth. All in all, Greenville University is a great place to study, and we welcome you here.
Blessings,

グリーンビル大学はミズーリ州セントルイスから車でわずか40分、シカゴから4時間のイリノイ州の小さな町グリーンビルの中心にあります。最高水準の高等教育が150年以上、ここグリーンビルで提供されています。私たちの教育方針は学生の個性を伸ばし、私たちが住むこの世界に変化を与えるような個性的な強さを育てることです。

当大学は、北中部大学学校協会(この地域のすべての大学の認可をする機関)の高等教育委員会から正式に認定を受けております。当大学の卒業生は実践・応用力に富んでおり、ビジネス、医学、音楽、教育、ジャーナリズム、スポーツ経営、科学、研究、社会福祉、アートなどのあらゆる分野にて即戦力として活躍しています。

アメリカでは、学士号取得のために小さな大学を選択し、大規模な大学で修士号を取得することが一般的です。これには多くの理由があります。一つは、小さな大学は少人数クラスであるため、個々への注意・関心や、教員との直接的な関わりが増えることです。二つ目は、小さなキャンパス内で、講義が重なる事が多い為、学生同士が知り合いになり易い事です。最後に、グリーンビル大学を含めた小さな大学では、大学院、工科大、医学校、法科大学院進学の際の輝かしい実績がある事です。

グリーンビル大学はクリスチャンの大学ですが、私たちは、真理を追究することに関心を持つ全ての学生を歓迎します。何よりも、グリーンビル大学は学ぶのに素晴らしい場所です。私たちはこの大学で皆さんを歓迎します。



— National Student Survey (NSS) 学生満足度調査 2018 全英 4 位 —

— The Times Higher Education Young University Ranking 2021 創立 50 年未満の世界大学ランキング 101 ~ 150 位 —

西イングランド大学はブリストルに所在する近代的な大学です。その起源は、ブリストルが世界的な海上貿易の港として栄えた 16 世紀の Bristol Society of Merchant Venturers' Navigation School 創立までさかのぼり、1992 年に大学として認可されました。学生数約 27,000 人を誇る英国最大規模の大学であるとともに、英国大学ランキング (The Guardian University League Tables 2023) において 24 位にランクインしています。

学部、大学院、専門コースやショートコースにおいて 600 以上のコースがあり、芸術学、創造産業学、健康学、科学、ビジネス学、法学、環境学、テクノロジー学を含む広範囲の学部を有しており、ほとんどの学士号が 3 年間で取得できます。

西イングランド大学の教育の特色は、賢固な産業ネットワークと世界的な見解とアプローチを取り入れた、専門的に認められた実習重視のプログラムを提供することで、入学当初から学生の将来のキャリアに重点をおいている点にあります。ロールスロイス、NHS、アードマン・アニメーション、BBC などの有力な地元企業と密接な関係を築いていることで、コースに適したコンテンツを開発し、学生は様々な職業機会に触れることができます。多くの学部併設されたサンドイッチコース(1 年の職業体験を含んだコース)では、研究と同時に、地元企業と海外からきた学部生を繋げ、関連する職業経験を提供することで、学生の国際的な素質を生みだしていきます。企業は、語学と文化面における能力と経験を求めており、西イングランド大学は履歴書に加えらる職業経験をj得ることの出来る絶好の機会を提供しています。

2018 年には英国で第 4 番目に学生の満足度が高い大学に選ばれています。ロンドンから鉄道でおよそ 90 分というロケーションと英国で最も住みたい街に選ばれたブリストルでの学生生活も、この西イングランド大学の魅力の一つでしょう。



Professor Steve West

Vice-Chancellor, President
and CEO UWE Bristol

西イングランド大学
副総長・会長・最高経営責任者

UWE Bristol is one of the UK's most popular universities with over 29,000 students. We have an excellent reputation for graduate employability and industry partnerships so you'll benefit with placements or internships that give you real-world experience.

Our outstanding research is making a real impact on society, and you'll benefit too as we integrate our research into our teaching. Combined with our excellent facilities, experienced academics and all the support services you need, we make sure you have the best student experience possible.

I'm incredibly proud of what our graduates go on to achieve and I look forward to welcoming you to our UWE Bristol community.

西イングランド大学は在学生在が 29,000 人を超える、英国において最も人気のある大学の一つです。当大学は、卒業生の雇用適性能力の高さ、そして、現場実習またはインターンシッププログラムを通し、実社会にて職務経験をj得ることが出来る充実した産業連携において高い評価を誇っています。

当大学の卓越した研究は、社会に実際に貢献しており、この研究を当大学の教育に融合させていることにより、在 student もその恩恵を受けることが出来ます。素晴らしい施設、経験豊かな学者、そして万全な学生サポートサービスの全てを提供することによって、我々西イングランド大学は、各学生が最善な学生生活を送れるように努めています。

当大学卒業生の社会での活躍、功績を心から誇らしく思っております。あなた方を次期西イングランド大学生として受け入れることを心待ちにしております。



De Montfort University

英国立デ・モントフォート大学



- 英国政府が評価する Teaching Excellence Framework (教育の質エクセレンス) 2017 で金賞 —
- Guardian 紙 UK University Ranking 2019 国際関係学部、政治学の分野において全英 14 位 —
- デザイン、ファッション、テキスタイル、グラフィック、建築など芸術系学部の名門校 —

英国立デ・モントフォート大学は、ロンドンから一時間ほど離れた、快適で多文化な街、レスターに所在します。レスターは、ローマ時代まで遡る歴史ある街並みとアーティスティックな建物との融合が目目を引く英国 10 大都市の一つです。

1869 年に創立され、1992 年に正式にデ・モントフォート大学となりました。芸術・デザイン・人間科学/ビジネス・法学/健康・生命科学/コンピュータ・工学・メディアの 4 学部で成り立っており、多くの学部は 3 年で学位を取得することが可能です。デ・モントフォート大学の学生には、国際的経験を培うプログラム #DMU global を通して海外のアカデミックな研修旅行やボランティアに参加する独自の機会があります。

日本人には、国際関係学部が人気です。また、アメリカ国会や欧州議会の元議員から指導をうけられる英国で唯一の大学として、実際の公開討論や国の協議会への参加、英国の元首相や庶民院の弁士といったゲストスピーカーから学ぶ機会など、独自の多様な学修環境が整えられています。

デザイン、ファッション、テキスタイル、グラフィック、建築など、芸術系学科も幅広くそろっており、人気があります。学生は、各分野の専門家や著名人から指導を受けることや、英国の各業界を代表する大企業とのつながりを持ったプロジェクトに参加する機会があり、アイデアを生み、開花させるスペースとして建築された Vijay Patel をはじめとする近代的なスタジオを活用しながら、ワークショップに参加し、実践的な経験を積むことができます。

At De Montfort University Leicester (DMU), we have put everything in place to help you build the skills and confidence you need to make your mark in a challenging world.

DMU continues to build a strong reputation based on proven academic quality, a clear focus on careers, and on a global outlook. We earned the Gold award in the Teaching Excellence Framework, or TEF, the only UK Government-endorsed measure of teaching quality in higher education. Gold is the highest ranking possible and this success underlines DMU's academic excellence and growing reputation.

Every DMU student has opportunities to connect with people in Leicester and around the world through our experience programmes #DMUglobal, DMU Square Mile India and #DMUlocal. They can support your studies, expand your horizons and shape the skills and attitudes employers value. They also make memories, make a difference and are a lot of fun. All of this helps explain why DMU is now more popular than ever.

Our newly transformed campus provides our students with the 21st-century learning community they deserve. It is a brilliant mix of exciting buildings with outstanding facilities and industry-standard equipment, offers venues in which to meet and eat, and has many relaxing green spaces. We have made it a great place in which to learn and live, just like our home city of Leicester, one of the UK's most diverse, happiest and best cities for work and life. We have every confidence in your future, and you should too. You can go on and make a difference. We can help you do so.

デ・モントフォート大学では、やりがいのある世界においてあなたが名を成すに必要なスキルや自信を培う手助けをするために万全の環境を整えています。

デ・モントフォート大学は、実績のあるアカデミックの質、キャリアへの明確な照準、そして世界的な視野において、高い評価を築き上げ続けています。高等教育の教育の質を語る基準として英国政府が唯一公認している Teaching Excellence Framework (教育の質エクセレンス -TEF) においては、金賞を受賞しました。金賞は最も高いランクになり、これに達したという事は、デ・モントフォート大学の学術的な卓越性と評価が高まっていることを明確に示しています。

デ・モントフォート大学では、#DMUglobal や DMU Square Mile India、#DMUlocal という体験プログラムを通して、レスターや世界中の人々と繋がる機会を全学生が持っています。これらのプログラムでは、勉強をサポートし、視野を広げ、企業が評価する能力や態度を形成することができます。

新しく移転したキャンパスでは、学生にふさわしい 21 世紀の学習環境を提供しています。傑出した施設と企業基準の設備のある素晴らしい建物との見事な融合を果たしており、飲食できるスペースや、リラックスできる緑地もあります。

私たちは、あなたの将来に自信をもっており、あなたもそのはずで、あなたなら、きっと進み続け、変化をもたらすことができるでしょう。私たちは、あなたがそうなるよう、サポートします。



Professor Katie Normington

Vice-Chancellor
De Montfort University

デ・モントフォート大学
副学長

世界クラスの名門大学、確かな語学力、有名企業への就職

しかし、海外の大学で学ぶ意味はさらに先にあります。

現代社会はグローバル化が進むと同時に多様化し、予測困難な時代となっています。このような社会を生きるために必要なものは、自ら課題を発見し、チームやグループの中でコミュニケーションをはかりながらディスカッションを通して課題解決へと導く力であると言われています。

海外の大学で学ぶという時に大切なのは「英語」を学ぶのではなく、英語で「何を」学ぶかということです。もちろん自分の専門分野の知識もそうですが、海外では自分の意見をはっきり伝える、すなわちコミュニケーションやディスカッションができないと認められません。したがって、「英語」という手段を使って積極的にコミュニケーションする姿勢を養うことができるということも、海外の大学で学ぶ大きな目的と言えます。

海外で生活するという事は決して簡単なことではありません。しかしそこで直面する問題を乗り越えながら大学生活を送ることで、人間的に強く大きく成長し、これからの社会に柔軟に対応し活躍できる人になってくれると確信しています。



学生の就職活動と就職先主要企業

学生は、平均的に大学の学部の二年次もしくは三年次からキャリアフォーラムに参加します。このキャリアフォーラムは、アメリカ・ヨーロッパなどの3年ないし4年制大学および大学院を卒業(もしくは卒業予定)の学生を対象とした就職フェアで、ボストン、ロンドン、東京、大阪など世界5カ国、8カ所で実施されています。グローバル人材を求める企業にとっては日本国内では出会えない層の採用が実現できる場として、最大規模のボストンでは200社以上の企業が参加します。また、学生にとっても海外での大学の学業を優先しながら、海外の年次に合わせて就職活動が効率よく出来るイベントとして幅広く受け入れられており、学部二年次で複数の内定獲得の報告も多く受けております。

金融・商社	三菱UFJ銀行
	第一生命
	損害保険ジャパン
	野村證券
	大和証券
	メリルリンチ日本証券
	モルガン・スタンレー
	三井物産
	三菱商事
	三井住友海上火災保険
	みずほ銀行ニューヨーク支店
	Bank of Scotland
	Bank of America
	Bloomberg L.P.
	Goldman Sachs
AIG損害保険株式会社	
ムーディーズ・ジャパン	
メーカー系	シャープ
	カシオアメリカ
	三菱重工業
	トヨタ自動車
	本田技研工業
	住友電気工業
	TOTO
	DELL
	SONY
	日本フィリップス
	マイクロソフト
	クライスラー・ジャパン
	パナソニック
	三菱電機
	大和ハウス
	トレンドマイクロ
	アステラス製薬
	大塚製薬
	カネボウ
	リコー
日立製作所	
バンダイナムコオンライン	

航空	日本航空
	ユナイテッド航空
	シンガポール航空
	JALウェイブ
マスコミ	日本放送協会
	日本経済新聞社
	フジテレビジョン
	北海道放送
OCS NEWS	
会計・コンサルティング	三菱総合研究所
	ニッセイ情報テクノロジー
	NTTデータアイ
	Deloitte Tohatsu Consulting, LLC
	KPMGコンサルティング
サービス業	リーガロイヤルホテル
	パレスホテル
	名古屋ヒルトンホテル
	ハイアット
	日本通訳協会
	ヤマハ英語教育
	河合塾
	JR東海
イオン	
Indeed Japan	
通信事業	NTT東日本
	NTTドコモ
	ソフトバンクテレコム
その他	外務省
	国連WFP(国際連合世界食糧計画)
	在日本アメリカ陸軍司令部
	名古屋税関
	在アフガニスタン日本国大使館
	東京慈恵医科大学
	日本学生協会 (U.K)
	熊本市国際交流振興事業団
	北海道日本ハムファイターズ
	三重県庁
バイオラッド・ラボラトリーズ	
西八王子病院	

Trinity Foundation Programme

トリニティ・ファウンデーション・プログラム

～世界クラスの大学で通用する語学力と基礎教養力を修得させ、6大学専門課程への進学を可能にする大学直属のプログラム～

アイルランド・英国の教育水準が非常に高いことで有名なのは、前述の著名人達の名を再び借りずとも分かるでしょう。大学及び高等教育機関への競争率は高く、その受験審査は大変厳しいものとなっています。一方で、大学専門課程における留学生の受け入れに関しては比較的消極的であることもあり、日本の高校を卒業してすぐに大学へ入学することはほぼ不可能と考えられています。

アイルランドの首都ダブリンの中心地に位置するダブリン大学トリニティカレッジは、その中でもとりわけ国際的知名度・学術的水準ともにトップレベルであり、文字通り世界中からの学生が集う大学です。このダブリン大学トリニティカレッジへの入学を身近にするシステムが誕生しました。

トリニティ・ファウンデーション・プログラムは留学生のためにカリキュラムを構成した、ダブリン大学トリニティカレッジ独自の教養課程コースです。教養課程コースは、一般的にファウンデーション・コースと呼ばれることもありますが、その大半は英国・ウェールズ北西部にあるバンガー市で行われます。強い絆を持つ2つの国、アイルランドと英国の両国で学ぶことにより、国際的視野をより一層広げながら学ぶことができます。ファウンデーション・コース修了後は、専門課程へ進級します。

また当プログラムはダブリン大学トリニティカレッジだけでなく、英国立バンガー大学、アメリカ私立グリーンビル大学、英国立西イングランド大学、英国立デ・モントフォート大学の専門課程進級のためのファウンデーション・コースも兼ねています。ただし、英国立セント・アンドリュース大学のファウンデーション・コースはセント・アンドリュース大学が独自で運営しており、同大学内で実施される9カ月間のファウンデーション・コースを受講します。

IF.U では指定校提携した高等学校等を通して、これら6大学への留学を希望する生徒のための入学試験を大学直属の機関として行い、合格者はそれぞれ大学の入学資格を得た上でファウンデーション・コースへと進みます。



Trinity Foundation Programme 海外大学進学2コース

自身の希望、ニーズに合わせて選択

トリニティ・ファウンデーション・プログラムは、海外大学進学を目指す学生に向けて、ファウンデーション・コースAおよびファウンデーション・コースBの2つの選択肢を提供しています。

ファウンデーション・コースA

高校卒業後の5月下旬に受講を開始し、翌年の秋に大学学部に進級します。約13カ月間かけて着実に学ぶことができます。また、日本の大学との併願が可能で、入学試験は高校3年次の3月下旬まで実施されるため、腰を据えてじっくり進路を検討したい方にお勧めです。

ファウンデーション・コースB

高校3年次の5月から受講を開始し、高校卒業同年の秋に大学学部に進級します。ファウンデーション・コースAに比べて1年早く大学学部に進級することができる特徴があります。費用と時間を軽減したい方にお勧めです。

入学試験は専願のみで、高校2年次の3月もしくは高校3年次の4月に入学試験を受験します。合格後は、海外大学進学に焦点を当ててファウンデーション・コースの勉強を進めていきます。海外大学進学の意志が固まっている学生にとっては、理想的なコースと言えるでしょう。

【ファウンデーション・コースA】



【ファウンデーション・コースB】



	ファウンデーション・コースA	ファウンデーション・コースB
入学試験時期	高校3年生の3月まで複数回実施、併願可能（ただし、受験は1回のみ）	高校2年生の3月もしくは高校3年生の4月頃に実施、専願のみ
募集大学	英国立セント・アンドリュース大学 アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ アメリカ私立グリーンビル大学 英国立バンガー大学 英国立西イングランド大学 英国立デ・モントフォート大学	アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ アメリカ私立グリーンビル大学 英国立バンガー大学 英国立西イングランド大学 英国立デ・モントフォート大学
学部進級時期	高校卒業翌年の秋	高校卒業同年の秋
ファウンデーション・コース受講時期	高校卒業同年の5月下旬～高校卒業翌年の6月下旬まで	高校3年生の5月～高校卒業同年の6月下旬まで
その他	日本国籍保持者は、ファウンデーション・コース受講に際し、事前のビザ申請が不要。ビザ申請にかかる費用や手間を大幅に軽減できる。	

「2つのコースとも、日本でのオンライン授業と英国での対面授業を実施します。英語力、専門知識、精神的な強さの全てを手に入れて、人生に抜群のアドバンテージを勝ち取る！高校卒業後に集中して学ぶか、高校在学中から二刀流で学ぶか、自分に最適なスケジュールと費用負担を選択しよう！」

海外大学に進学することで、ビジネスで通用する英語力や専門的な知識、4-5年の海外生活で培われる精神的な強さなど、圧倒的なアドバンテージを得て、その後のキャリアをスタートすることができます。しかしながら、円安や海外の物価の上昇により、ご家庭の負担が増えていることも事実です。

30年以上海外大学進学に携わってきたトリニティ・ファウンデーション・プログラムでは、そのノウハウや経験を最大限に活用し、海外大学進学に必要な力を十分に獲得しつつ、可能な限り費用を抑えることができるよう、日本でのオンライン授業と英国での対面授業を組み合わせた形でファウンデーション・コースをご提供しています。どちらのコースもターム1は日本でのオンライン授業（※）が行われ、ターム2および3では英国での対面授業が行われます。これにより、海外大学進学にかかる費用を最小限に抑えながら、求められる英語力やアカデミックスキルを効果的に身に付けることが可能です。

（※）ターム1は両コースとも日本でのオンライン授業となりますが、授業内容・授業数・授業進度・実施形態など異なります。詳しくはP11、12にてご確認ください。

「日本でオンライン授業を受講し、その後、英国で対面授業を受講する3つのメリット」

メリット1：現地滞在期間を6カ月未満とすることで費用の負担を軽減

長期間の留学になるとビザが必要であり、ビザ申請にかかる諸費用や手間も少なくはありません。滞在期間に応じた生活費や留学生保険料なども必要です。英国の場合、日本国籍保持者は6カ月以内の滞在であれば事前のビザ申請が不要であることから、トリニティ・ファウンデーション・プログラムは、現地での対面授業を6カ月以内としています。これにより、ビザ申請諸費用（1年間英国に滞在する場合18万円程度）や現地での生活費（目安として1か月10万円程度）を軽減することが可能です。

メリット2：精神的負担を軽減しながら、海外大学で求められる学力を獲得

英語だけの環境で勉強や生活をするには、憧れと共に不安も感じることでしょう。日本でファウンデーション・コースの勉強をスタートし、英語力をつけてから海外で学ぶステップを踏むことで、精神的負担も軽減することができます。日本（オンライン授業）で獲得した英語力をもとに、英国でのターム2・3では、海外大学の授業形式に即した授業や課題に取り組みます。プレゼンテーション・ディスカッションなどアカデミックスキルや専門科目の基礎知識も確実に学べます。

メリット3：海外での大学生活をスムーズにスタートできる

英国で実施されるターム2・3はホームステイとなります。当方がアレンジするホームステイ先は、日本人留学生の受け入れ経験豊富な方が多く、異なるバックグラウンド・年代の人と共に生活することで、家庭でしか体験できない現地の習慣を知ることができるため、大学学部に進級してからも、多国籍な学生との大学学部生活をスムーズに開始することができます。

Trinity Foundation Programme

2 コースの年間スケジュール

※進級する大学や文系・理系によってカリキュラム及びタームの構成は異なります。ここではダブリン大学トリニティカレッジのコースを紹介します。

※各コースは3つのタームからなっており、各大学の認定・承認を受けたカリキュラムに基づいて実施されます。毎タームにMid Term Exam, End Term Examが実施され、その試験結果および授業態度により成績が評価されます。大学が求める成績を修めると、大学の専門課程への進級が認められます。

※ターム2・3は英国・北ウェールズのバンガー市で実施します。滞在中は日本人学生の受け入れ経験が豊富で、当プログラムの趣旨をよく理解している協力的な家庭にホームステイをします。授業カリキュラムでの英語力強化だけでなく、ファミリーの中で家族の一人として生活することで、リスニング力および会話力を短期間で飛躍的にアップさせることができるとともに、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度と自立心を養うことができます。

※英語力により補習授業を受講していただく場合がありますが、追加費用は一切発生しません。

ターム 1

ファウンデーション・コース A

時期: 高校卒業年の5月下旬～12月中旬を予定

受講地: 日本(ご自宅)

実施態: オンライン実施(Zoom授業と録画授業)

時間数: 夏休みを挟んで、前半、後半で異なります。

- 前半(5月下旬～7月中旬(もしくは下旬))
週に数日/1日2-3時間程度
- 夏休み(7月中旬(もしくは下旬)～9月中旬(もしくは下旬))
夏休みとなりますが、毎週、個人面談を実施し、学習状況の把握やアドバイスを行います。
- 後半(9月中旬(もしくは9月下旬)～12月中旬)土日を除く週5日/録画とZoomによる授業で1日4-5時間程度

ファウンデーション・コースAのターム1は、日本(ご自宅)でオンラインにて受講します。オンラインとはなりますが、定期的に個人面談を実施し、一人ひとりの学習の進捗状況など把握しながら、学習計画を立て、それに沿って勉強します。苦手分野を克服しながら、基礎的な英語4技能を強化することで、ターム2からのアカデミックな授業をスムーズに開始できます。

ターム1の間はアルバイトを認めています。勉強に集中しつつも、オンオフの切り替えをしながら、メリハリをつけて勉強することが大切です。

ファウンデーション・コース B

時期: 高校3年生の5月～12月中旬を予定

受講地: 日本(ご自宅)

時受講形態: オンライン実施(Zoom授業)

時間数: 90分×2回/週(予定) 高校から帰宅後、自宅にて受講します。

高校生活と同時にファウンデーション・コースの学習に取り組むことは、高校の学業との両立が課題となる場合もあります。通常、高校3年生になると受験勉強に注力する傾向がありますが、代わりに、海外大学への入学資格を得た上で、ファウンデーション・コースの受講を始めることができます。自主的な学習姿勢があれば、優れた教師陣により、クリティカルシンキングを基盤とした、世界中から集まる優秀な学生と肩を並べ学習するために必要な、価値あるスキルを獲得することが可能です。

トリニティ・ファウンデーション・プログラム(英国)とIFU(日本)には、それぞれのオフィスがあり、両方の拠点で海外大学進学に向けたサポートを行っています。さらに、必要に応じて在籍する高校の先生とも情報を共有し、連携しながら海外大学進学のサポートを行っています。進捗や悩みについて随時相談しながら、海外大学進学に向けた勉強を進めることができる環境が整っています。



ターム 2

ファウンデーション・コース A

時期: 1月上旬(もしくは中旬)～3月中旬を予定

受講地: 英国・北ウェールズ バンガー市

受講形態: 対面実施*

時間数: 週23-27時間のフルタイム授業

ターム2開始にあわせて、1月上旬(もしくは中旬)ごろに渡英します。

※一部の専門科目においては、Zoom授業となる可能性があります。

ファウンデーション・コース B

時期: 高校3年生の1月上旬(もしくは中旬)～3月中旬を予定

受講地: 英国・北ウェールズ バンガー市

受講形態: 対面実施*

時間数: 週23-27時間のフルタイム授業

ターム2開始にあわせて、1月上旬(もしくは中旬)ごろに渡英します。

希望する学生は、高校の卒業式に参列できるよう配慮します。

※一部の専門科目においては、Zoom授業となる可能性があります。

ターム2以降は、ファウンデーション・コースA、ファウンデーション・コースBが合流し、バンガー市にて受講します。当コースで指定されたスペシャル・サブジェクト*の履修を開始し、アカデミック・イングリッシュに焦点をあてます。

専門課程にて必要なスキルを学びます。プロジェクトワークでは、自身の専門分野に関連した内容からトピックを選び、文献・情報をリサーチし、発展的エッセイを作成します。ノートテイキングでは、講義中に無駄なく要点をまとめる、ノートのとりかたを学びます。

専門課程に入ると、提出物・試験はほぼエッセイ形式となるため、それに備えて正しいエッセイの書き方を徹底的に学びます。定期的に課題を提出します。

*スペシャル・サブジェクト: 文系、理系に応じて1～3科目を履修します。その年により開講される科目は異なりますが、ビジネススタディ、歴史、社会学、数学、心理学、コンピューター科学、生物学、アート&デザイン、ミュージックなど。芸術学部を希望する場合は、学部進級前にポートフォリオの提出を求められる場合は、スペシャル・サブジェクトにてポートフォリオを完成させます。



ホストファミリーとウォーキング

ターム 3

ファウンデーション・コース A

時期: ターム2に引き続き、3月中旬～6月下旬を予定

受講地: 英国・北ウェールズ バンガー市

受講形態: 対面実施*

時間数: 週23-27時間のフルタイム授業

※一部の専門科目においては、Zoom授業となる可能性があります。

ファウンデーション・コース B

時期: ターム2に引き続き、高校3年生の3月中旬～6月下旬を予定

受講地: 英国・北ウェールズ バンガー市

受講形態: 対面実施*

時間数: 週23-27時間のフルタイム授業

※一部の専門科目においては、Zoom授業となる可能性があります。

今までに学んできたことの総まとめとなります。プレゼンテーションは定期的に行われ、観衆前で論理的にスピーチする力を養います。アカデミック・イングリッシュに重点を置いたプログラムが継続され、更に難易度の高い課題が与えられます。タームの最後に最終試験が行われます。プログラム修了後クロージングセレモニーが行われます。



※6大学の学部構成や学費については、英国立/アイルランド国立大学/アメリカ私立大学留学プログラム資料や各大学の学部一覧をご参照ください。入学試験の詳細は出願要項に記載しています。お手元に資料がない場合は資料をご請求ください。資料請求、お問い合わせ、個別説明・相談については、お電話またはホームページから承っており、QRコードもご利用いただけます。<http://ifu-japan.net/enquiry/> 希望者には、入学試験の過去問題をお渡ししています。



学生たちへのインタビュー



木村 安里さん
聖ドミニコ学園出身
トリニティ・ファウンデーション・プログラム 2007 年度生
ダブリン大学トリニティカレッジ Business and Sociology 卒業
就職：現在外資系企業 Bloomberg L.P., APAC team leader at Operations にて
Global Customer Support(GCUS) のチームリーダーを務める

留学のきっかけは？

とにかく英語が大好きで、英語で勉強したいという強い気持ちと日本を出て自分の視野を広げたいという思いがあり留学を決意。ダブリン大学トリニティカレッジを選んだ理由は、世界的にとっても有名な大学であったためです。

トリニティ・ファウンデーション・プログラムで学んで良かったと思うことは？

エッセイの書き方を本格的にマスターする事が出来たことです。学部に入ってから毎学期の試験は全てエッセイ形式で、ファウンデーション・コースで学ばなければ、決してやっていけなかったと思います。特に、大学に進級して最初のエッセイを提出するとき、現地のお友達と交換して確認などをしたのですが、圧倒的にファウンデーション・コースでエッセイの書き方を学んだ私の方が、ネイティブの学生のエッセイよりもクオリティーが高く、びっくりされたのを覚えています。

ファウンデーション・コース中の過ごし方を教えてください。

毎日の復習と課題の他に、毎晩新聞を必ず読むことを習慣にしていました。タブロイド紙やファッション雑誌というのは、文法を崩して書いている事が多いので、高級紙である The Guardians, The Telegraph, The Times などを毎晩必ず隅から隅まで読んでいました。ファウンデーション・コースに参加している日本人の学生とも協力し合って、なるべく英語で会話するように心がけていました。自分がどうしてファウンデーション・コースに来ているのかなど、周りに流されるのではなく自分の夢やゴールをしっかりと見つめながら過ごす事もすごく大事だと思っています。

ダブリン大学トリニティカレッジでの日々の過ごし方を教えてください。

平日は授業の合間にお友達とランチを楽しんだり、図書館で勉強をしていました。勉強の他にも、ダブリン大学は、平日の夜でもイベントが多く、大学の中にあるパブでお友達と楽しく時間を過ごしたのもよく覚えています。特に Sociology の学部は大量の本を読まされるので、休日にもバルコニーでゆっくりしながら本を読んで勉強していました。休日は、ダブリンは美術館は無料なので、気分転換に絵を見に行ったり、お友達とお昼ごはんを食べに行ったりと充実したお休みを過ごしていました。

就職活動はいつごろからはじめましたか？

大学3年生の冬から自分がしたい事をしっかりと見つめなおし、夏休みに入る前あたりから、ヨーロッパ・アメリカを拠点としたバイリンガルを特に必要とする仕事に絞って活動をしていました。

日本企業は英語を使って仕事をできる人材として、海外大学卒業生の採用に積極的だといわれていますが、就職活動中、それを感じましたか？また英語力以外で評価されていると感じた点があれば、具体的に教えてください。

大学生活のなかで自分分析をしないといけない時が多かったり、社会問題であったり、自分の意見を主張することを常に強く求められるため、外資の会社で海外とやり取りする事が日常である私にとって、非常に役立っています。留学している時は常に自分の目標に向かって何をしなくてはいけないのか、自分の目標を常に先に掲げながら生活していたこともあって、仕事のプロジェクトをする際にもそのような物事に対する真っ直ぐな姿勢を評価される事があります。

現在、どこで、どのような仕事をしていますか？留学経験が現在の仕事にどのように活かされていますか？または、留学経験を活かして、今後どのようなことをしたいと思っていますか？

東京にてアメリカ系経済情報提供サービス会社の Bloomberg L.P. にて働いています。Bloomberg の顔である Global Customer Support(GCUS) は世界4か国、ニューヨーク、東京、シンガポール、そしてロンドンから世界中のお客様を24時間365日サポートしています。私は東京にて GCUS のチームリーダーとして、シンガポールと東京のチームを担当しています。世界中のお客様に他社よりも更に優れた効果的かつ効率的なカスタマーサポートを提供/維持出来るよう、人材育成そして探究心に重点をおいております。最近では採用にも関わっているため、自分の経験を使いどうやって、海外にいる学生をひきつけるかなどの戦略などを考えるのに、自分の留学経験が役立っています。

※ 学生達へのインタビューはこちらからも多数ご覧いただけます。→



学生たちへのインタビュー



東功朔くん

栄東高等学校出身

トリニティ・ファウンデーション・プログラム 2014 年度生

バンガー大学 Business 卒業

レスター大学院 Marketing 修士課程 修了

就職先：外資系企業

(バンガー大学ビジネス学部卒業後、レスター大学大学院に進学し、修士号を取得しました。英国の大学院では、殆どの場合、1年で修士号取得が可能です。)

大学の学部ではどのようなことを学びましたか？

バンガー大学ではビジネス学部在籍し、金融や財政、更には会計や経営等、ビジネス全体の仕組みを多角的に勉強しました。

大学院進学を決めた理由を教えてください。

先述の通り、バンガー大学での3年間でビジネスの仕組み全体を勉強し、マーケティングという分野をその中の一部として学びました。その際に、マーケティングの重要性、面白さ、奥深さを感じ、イギリスに残り、この分野をより深く学びたいと思ったため、大学院進学を決意しました。

大学院ではどのようなことを学びましたか？

マーケティングという狭い分野を、心理学や社会学等の関わりのある分野と融合させながら、広く勉強することができました。面白く、記憶に残る授業は沢山ありましたが、中でも最も印象に残っているのは、スポーツビジネスのマーケティングに関する授業です。ご存知の方も多いと思いますが、レスターには日本代表の岡崎選手が在籍している(2019年4月現在)ことで有名なサッカーチームがあり、そのサッカーチームのオーナーが実際のデータを用いて、スポーツビジネスのノウハウ、人々を魅了し続ける秘訣等を教えてくださいました。

学部と大学院での学びはやはり異なりましたか？(英国で) 大学院に進学することのメリットを教えてください。

やはり大学院での授業の方が、より深く、実践的で、実世界で使える知識を得ることができました。私の教授の言葉を借りると、まさに“教科書を超えた”授業だったと思います。レスターの大学院に進学したことで、新たな出会いがあり、数多くの貴重な経験をすることができました。また、イギリスの大学院は殆どの学部を1年で卒業することができ、修士号を得ることができるというのも大きな魅力の1つだと思います。

留学経験で得たものは何ですか？

留学を通して得たものを一言で表すと、“人としての成長”だと思います。留学中は大小を問わず、数多くの困難に直面し、その一つ一つを乗り越えなければいけません。その過程を通し、環境順応能力や決断力、チャレンジ精神、更には論理的思考等の社会で必要とされる様々な能力を身につけることができました。

留學生活の中で「人との出会い」という点について感じることを、エピソードがあれば教えてください。

イギリスに5年滞在し、数えきれないほどの国籍の人と出会い、同じ空間で勉強をしました。彼らから様々な価値観を学び、多様性を享受することの必要性を感じました。中でも1番印象に残っているのは、キャサリン妃との会話です。私が大学院に在籍している際にウィリアム王子とキャサリン妃がレスター大学を表敬訪問されました。その際に1分程ではありましたが、大学側からキャサリン妃と会話をする機会を与えていただきました。短い時間ではありましたが、その時にかけていただいた言葉は、今後の人生の糧になるものでした。

いつごろから、どのような形で就職活動を始めましたか？

大学院在籍中に情報収集を始め、11月にボストンで開催されるキャリアフォーラムに参加しました。

日本企業は英語を使って仕事をできる人材として、海外大学卒業生の採用に積極的だといわれていますが、就職活動中、それを感じましたか？また、どんなときにそれを感じましたか？

どの企業も優秀な海外大学生を求め、優秀な学生を採用し、確保することにとっても積極的であると感じます。しかしそれは英語力の評価ではなく、留学を通して得たもの、成長したものに対する評価であると思います。企業側は海外留学生が高い英語力を持っていることを当然と考え、それ以上の“プラスα”を重視します。正規留学生が海外で数年間生活をし、複数の観点で自立をしている点です。中には企業の方から優秀な学生に声をかけることもあります。

今後、どこで、どのような仕事をする予定ですか？

私は大学院を卒業後、日本に帰国して外資系の企業でマーケターとして働きます。私が大学、大学院で得た知識、経験、英語力を存分に活かすことができる職場です。

ファウンデーション・コース B 受講生の体験談

2021年11月インタビュー



野田 茉愛美さん
神戸国際大学附属高校出身
トリニティ・ファウンデーション・コース B 2020 年度生
バンガー大学 社会学 (Sociology) 1 年生

FCB のターム 1 はどうでしたか？

高校から帰宅後にオンライン (Zoom) で受講しましたが、問題なく授業を受けることができました。受講前は、ネイティブの方と話したことがなかったので、週2回、1回1時間半の授業を理解できるのか不安でしたし、慣れるまで、最初の1ヶ月はすごく大変でした。しかし、授業を何度も受けていくうちに、一つずつ分かることが増えていき、楽しくなった頃から、不安は少しずつ減っていきました。

FCB で興味深かった授業は？

社会学 (Sociology) の授業です。日本では社会系の科目だと知識をたくさん詰め込んで、暗記が多いイメージですが、FCB の授業では個人の意見がより重視され、社会で起こっている事例に対しての自分なりの意見を持てるようになり、また、それを英語で述べるようになることができました。大学で学ぶ内容に沿った授業で、大学学部に進んだ今、授業で学んだことが基礎知識としてとても役立っています。

FCB の後半は英国で受講しますが、どうでしたか？

日常生活でも英語の環境で過ごせるというのはすごく良かったと思います。日本にいる間は、英語を話す機会が授業中のみでしたが、英国ではホームステイ先でのホストファミリーとの会話、学校に行く際のバスや買い物先のお店などでも英語を使うことになるので、特にリスニングとスピーキングの面で成長できたと実感しました。先生方にも、「英国での生活を通して力がついたね。」と褒めていただきましたし、これから大学生活を送る場所の環境に馴染むことは大切なことだと思いました。大変な状況の中アレンジしてくださった IFU の皆さんと、送り出してくれた家族に感謝しています。

英国でのホストファミリーとの生活はどうでしたか？

ホストファミリーと過ごせたことは本当に良かったと思っています。毎日お話ししたり、ご飯を一緒に食べたり、お料理をしたりしてすごく素敵で幸せな時間を過ごしました。特にスピーキングの力を鍛えることができ、同時に文化も学ぶことができました。学部に進級した今でも交流を持っているのが大学生活の支えになっています。

FCB 受講を検討している方に対して、メッセージをお願いします。

FCB が始まった当初は、単純に卒業した年の9月に大学に進学できることが魅力だと思っていました。ですが修了した今では、そのことよりも、高校生活と FCB の勉強を両立できた、大変な中でもやり抜けたという経験が今の自信につながっていると実感しており、これらが一番 FCB を選んで良かったなと思う理由に感じます。この自信は、これからの大学生活にも生きてくると思います。



江口 紗英さん
藤女子高等学校出身
トリニティ・ファウンデーション・コース B 2020 年度生
バンガー大学 英文学と犯罪学と刑事裁判
(English Literature and Criminology & Criminal Justice) 1 年生

FCB での海外大学進学を希望した理由を教えてください。

海外大学進学のコストと卒業・就職のタイミングが同年代の人より遅れてしまうことがネックだったのですが、その二点の不安を和らげてくれるコースだったため、FCB での海外大学進学を決意しました。実践的な英語を身につけ、出来るだけ早いうちに異なる環境で育ってきた沢山のひとと出会い、様々な文化や価値観に触れ、自分の世界を広げたいと思ったからです。

FCB のターム 1 はどうでしたか？

初回の授業は、「英語が聞き取れなかったらどうしよう」と緊張していましたが、先生はとても優しく、理解できるまで話してくださるので不安はなくなりました。2回目からの授業は、良い意味でリラックスして授業を楽しむことができました。Academic English の授業は、基本的に高校レベルの文法の復習のような形だったので、難しくはありませんでした。それでも毎回一定量の英文を書く・読む・聞くことができますし、分野ごとの専門用語や新しい表現を学べたので、とても勉強になりました。高校と FCB の両立のために、少し忙しい時期は FCB のテキストを学校に持っていき、休み時間に予習・復習をしていました。毎授業後にまず一回復習をして、次回の授業の予習の際にもう一度前回のテキストを見返していました。試験前は試験対策のための時間を割けるように FCB と高校の勉強をプランニングしていました。両立するうえで、勉強以外の時間 (自分がリラックスできる時間) をどのように作るか、というのもとても大切だと感じました。



ガス 希安 ダグラスくん
アレセア湘南高等学校出身
トリニティ・ファウンデーション・コース B 2020 年度生
バンガー大学 マーケティング及び心理学
(Marketing with Psychology) 1 年生

FCB での海外大学進学を希望した理由を教えてください。

一般的には卒業してから1年かけて FC を受講し、大学学部入学の準備をしますが、FCB の場合、高校3年生の時に FC を受講し、卒業した同年の9月に学部に入学することが可能だったので、すごく効率が良いと思います。志望しました。

FCB のターム 1 (オンライン) はどうでしたか？

最初にオンラインでイントロダクションがあり、FC の先生に FCB の授業の流れを説明してもらったので、とくに不安はありませんでした。実際にコースを受講して期待を超える質の高い授業だったのでとても満足しています。授業は FC の経験豊富なネイティブ教師によりすべて英語で実施されるので、短時間でより多くの英語を吸収することができます。日本語で考えて英語をアウトプットするのではなく英語でインプットし、考え、アウトプットするというように、すべて英語で行うことが当たり前になってきます。そのため、普段からたくさん英語に触れることが必要です。また授業後に質問する時間があり、分かりやすく教えてくれます。

FCB のターム 2 以降の授業について教えてください。

ターム1からターム2・3にかけて内容が基礎的なものから、大学で必要になるそれぞれの学部に沿った専門科目の内容に移るので、難易度はかなり上がります。とはいうもののターム1は高校の勉強と並行して受講しますが、ターム2からはFCBの勉強のみなので、十分な勉強時間を確保することが出来ます。

FCB で興味深かった授業は？

心理学 (Psychology) の授業でした。基礎的な内容で大学のように研究の話はしませんが、普段の生活のなかで見かける人のふるまいや態度がどこからどういう仕組みで生まれてくるのかなど、数学の公式を覚えるように、人を理解するための心理学フレームワークを知ることができたのでとても面白かったです。

大変だった授業を教えてください。

英語の授業はすべてコツコツ練習をし、スキルを身につけていくものだったのでライティングやリーディングなどが特に難しかったです。大学に入ると、ネイティブスピーカーと勉強をするので、それについていけるようになるために行った沢山のライティングやリーディング練習はスピードも速く、単語も難しかったです。

FCB の学びは、大学学部でどのように活かされていますか？

FCB で学んだ内容が、大学学部で必要となるスキルに直結しており、課題も似通っています。FCB での学びが、大学学部の学びに活かされていることを実感し、嬉しく感じています。

FCB 受講を検討している方に対して、メッセージをお願いします。

FCB のターム1は忙しいものの、短期間で著しい成長を遂げるので受講するチャンスがあるならつかみ取るべきだと思います。学校との両立が心配かもしれませんが、最低限のことをこなしていれば、少しずつ慣れて余裕がでてくるので、その余裕をまた勉強に費やせばどんどん伸びていきます。

FCB のターム 2 以降の授業について教えてください。

ターム1より一度に学ぶ情報量が増えるため、毎日の予習復習は欠かせません。能動的にアウトプットする機会が増えるので、スピーキングとライティングのスピード・能力がより問われます。クラスメート3人と一緒にチームプレゼンテーションをした授業が強く記憶に残っています。準備する時間も授業内でかなり限られていたので、英語力とチームワークが試される機会でした。実際の大学の授業でもよくある形式だと教わったため、大学進学の実感と意欲が湧きました。

留学サポート

トリニティ・ファウンデーション・プログラムと I.F.U が、英国・日本と二拠点で、学修・学生生活を包括的にサポート

トリニティ・ファウンデーション・プログラム【英国】と I.F.U (国際大学連合)【日本/兵庫県神戸市】には、それぞれのオフィスがあり、両方の拠点で海外大学進学に向けたサポートを行っています。みなさんの海外大学での学位取得という目標に向けて、無理なく、確実に、ステップアップしていくことが可能になるよう、英国と日本の二拠点で実施している主なサポートをご紹介します。

これらのサポートは、ファウンデーション・コース学費に含まれていますので、追加費用はかかりません。

ファウンデーション・コース開始前

海外大学進学に興味のある方に対し、随時、個人相談を承っています。皆さまの大切な将来を、専門的な知識、経験をもとにご相談のり、サポートしています。ファウンデーション・コース生に対するサポートは、入学試験の合格発表後の合格通知を手にしたときから受けることができます。

サポート例：日本での英語学習の指導/個別授業の実施※/現地での生活に関するご案内(医療制度、携帯電話、お金の持って行き方)など

※入学試験の結果、英語力の強化が必要と判断された場合は、Zoomを使用しての英語の個人レッスンを実施したり、課題などを課したりすることがあります。その場合も追加料金はかかりません。

ファウンデーション・コース中

高い目標を掲げた仲間たちと共に勉学するファウンデーション・コースは、大学専門課程への進級に備えるだけでなく、そこで必要とされる能力(英語力・専門分野に関する基礎知識・時間管理能力・自己管理能力・精神力など)を培う準備期間です。

英語科目、スペシャル・サブジェクト(専門科目)を含む約8名の先生と、英国と日本の二拠点のスタッフが、それぞれ連携を取りながら、ファウンデーション・コースの受講をサポートしています。徹底した少人数制の授業や個人面談など、学生一人ひとりに合わせた個別のサポートを受けながら、学生は困難を乗り越える経験を積み、大学専門課程で重要な「力」をつけていきます。

ターム1(日本でのオンライン受講)

オンラインで授業を受けます。オンライン受講に関する疑問や不明点は、I.F.U(国際大学連合)【日本/兵庫県神戸市】が日本語でサポートしています。定期的な個人面談を通じて、勉強の進捗状況を把握し、悩みや相談に対応できる体制を整えています。

その他のサポート例：保護者と出身校への成績報告(日本語のサンプル翻訳付き)/奨学金手続きのサポート(アドバイス、各種証明書の発行と翻訳)

ターム2・3(英国で受講)

勉強量も多く、慣れない海外生活で出てきた問題や悩みに、早期に対応できるよう、毎週の個人面談(日・英両言語で実施)を通じて、学修・生活の両面を全面的にサポートします。

その他のサポート例：渡英フライトの手配もしくはアドバイス/現地空港送迎バス手配/ホームステイのアレンジ/携帯電話やSIMの購入サポート/医療機関の受診同行/保護者と出身校へのターム毎の成績報告(日本語のサンプル翻訳付き)/奨学金手続きのサポート(アドバイス、各種証明書の発行と翻訳、奨学金手続きに際し、各種証明書を日本宛てに郵送する際の費用負担(信頼性の高い国際宅配便DHLを利用)/大学専門課程進級に関する手続きについてのご案内(授業料納入、入寮手続き)など

保護者の方向け 日本の相談窓口：I.F.U(国際大学連合)

将来海外でやっていくという自負・自立心の表れから、なかなかお子様から連絡がない、という相談を頂くことがあります。出来るだけお子様の自立を促したい、日本語での会話は避けたい、お子様の勉強時間の確保を優先したいが、やはり、お子様の様子が気になるといった場合、ファウンデーション・コースの日本事務局(I.F.U)にご相談いただくことが可能です。

自立を促すために程良い距離を保ちながらも、大切なことはきちんとやり取りをする必要がありますので、日本事務局であるI.F.Uは、保護者の方とお子様の間に入って、適切なアドバイス・サポートをいたします。

大学専門課程(学部)進級後

海外生活では、学生自身の力で解決すべき事柄はだんだんと増えていきます。しかし、その中で困ったこと、確認してほしい事項などがありましたら、お気軽にご連絡下さい。一緒に問題を解決していきましょう。

サポート例：奨学金のほか手続き書類の翻訳作成・レター発行/授業料や寮費を当方の口座を介して納入(振込代行)/国際郵便の発送代行など

各大学による英語力の強化サポートも充実しています。

ファウンデーション・コースを修了すると、大学の専門課程で必要とされる英語力はほぼ身につけています。しなしながら、現地の学生と同様に英語を自在に使いこなす、エッセイなどが重要視される海外大学で優秀な成績を修めるには、多少のサポートが必要でしょう。各大学は、主に学部一年生の留学生を対象に、英語のサポートを実施しています。

バンガー大学：

一年次に「留学生のための英語」の授業選択が可能(単位に加算される)

ダブリン大学トリニティカレッジ、西イングランド大学、デ・モントフォート大学：

課外で「英語コース」を開講。英語・アカデミックスキルの授業やエッセイ・課題のサポートを受けることが可能(費用は大学負担)

奨学金・アルバイトについて

奨学金制度や各種ローン

2023年10月1日時点の情報です。今後、変更になる場合がありますので、最新の情報はHPにてご確認ください。

学生が安心して大学生活を送り、将来世界で活躍したいという夢や目標にチャレンジできるよう、各大学が独自の奨学金制度を設けています。各大学独自の奨学金のほか、国が実施する日本学生支援機構の第二種奨学金(海外)、地方公共団体や民間団体による奨学金制度もあります。申込期間が限定されているものもありますので、早い段階から検討することをお勧めします。

■ 各大学が独自に実施する奨学金制度

※ 大学学部生を対象にしていますので、ファウンデーション・コース中は支給されません。

奨学金制度名	種別	金額	対象	備考
ダブリン大学トリニティカレッジ奨学金制度	給付	大学院を含む最大5年間、学費のおよそ65%を免除。寮費と食費が無料。少額の奨学金付与。	成績優秀者(学部2年生全員が対象で70名の枠)	希望者は学部2年次の1月上旬に奨学生試験を受験。
アメリカ私立グリーンビル大学特別奨学金制度	給付	年額10,000ドル(約110万円)を就業年限まで。 ※1ドル110円で計算した場合	出身校の評定平均が3.6以上。	2年次以降は、前年の成績により審査(継続受給にはGPA3.0以上が必要)。
バンガー大学奨学金制度	給付	トリニティ・ファウンデーション・プログラムを修了した学生全員が、一定の学費免除を受けることができます。書類審査や成績審査に合格した場合、さらに手厚い奨学金を受給することも可能です。制度は定期的に見直されており、最新の情報は当社のHPにてご確認ください。		
西イングランド大学奨学金制度	給付			
デ・モントフォート大学奨学金制度	給付			



■ 国が実施する奨学金制度

日本学生支援機構 第二種奨学金(海外) (貸与型 有利子)

学位取得を目的として海外の大学に進学を予定している方が進学前に予め申し込む「予約採用」、及び現在海外大学に在学している方を対象とする「在学採用」の2つがあります。以下、予約採用についてご案内いたします。

申込期限 在学(出身)学校の奨学金担当者にお問い合わせください。問合せ先・書類提出先は学校の担当窓口です。(学校ごとに期限を定めています。早い時期に申し込み時期をご確認いただくことを強くお勧めします。)

申込資格 高等学校等/短期大学等を卒業見込みの方、または高等学校を卒業後2年以内の方

対象者 留学希望のある方で、経済的理由により留学が困難な方。学位取得を目的として海外の大学への留学を希望する方。海外の大学を卒業する能力を有することについて在学(出身)学校の長が推薦する人。

利率 (有利子貸与奨学金。在学中は無利息) 利率の算定方法については①「利率固定方式」、又は②「利率見直し方式」を選択

貸与月額 2万円~12万円まで、1万円単位で自由に設定。

入学時特別増額貸与奨学金 入学時に必要な資金として、月額とは別に上限50万円までの増額貸与を申し込むことができます。

*ファウンデーション・コースAでセント・アンドリュース大学、バンガー大学、ダブリン大学トリニティカレッジ、西イングランド大学、デ・モントフォート大学の場合はファウンデーション・コース中から受給することができます。グリーンビル大学の場合は学部に入ってから受給となります。

*詳細については、日本学生支援機構のHPをご覧ください。(※1)

■ その他奨学金情報 (※2)

地方自治体や民間団体が実施する、海外大学進学のための奨学金情報



※1 日本学生支援機構



※2 その他奨学金情報



※3 国の教育ローン

■ 国の教育ローン (※3)

日本政策金融公庫が実施する教育一般貸付

問合せ先・資料請求	世帯の年間収入(所得)の上限額	融資可能額	返済期間
教育ローンコールセンター ☎0570-008656/03-5321-8656 またはWEBサイトを参照(※3)	990万円(770万円) ※括弧内の金額は事業者所得の場合の所得上限金額です。	450万円以内 日本学生支援機構の奨学金との併用が可能です。	15年以内

その他金融機関の教育ローン…JA、民間の金融機関の教育ローンなどがありますので、最寄りの金融機関にお問い合わせください。

アルバイト

国によりアルバイトに関するビザの規定が異なります。ビザの規定に則り、学業に支障をきたさない範囲でアルバイトをすることができます。

国	アルバイトの条件	例
英国	週20時間(休暇中は週40時間)まで就労可能。	日本語を教える、レストランのウェイター、ウェイトレス、オンラインでの英語教師や翻訳・通訳、バンガー大学バンガー大学日本研究所が実施する短期研修(春・夏)のサポート ※ファウンデーション・コースのターム2・3の間におけるアルバイトは認められておりません。
アイルランド	週20時間(6~9月、12月15日~1月15日までは週40時間)まで就労可能。	日本語を教える、レストランのウェイター、ウェイトレス、オンラインでの英語教師や翻訳・通訳、駐在員子弟の家庭教師
アメリカ	学業に支障がないという条件付きで、キャンパス内の仕事に限り、週20時間まで就労可能。	大学内のカフェ、学生生協

Trinity Foundation Programme
International Federation of Universities (I.F.U)

University of St. Andrews
Bangor University
Trinity College, University of Dublin
Greenville University
University of the West of England
De Montfort University



I.F.U (国際大学連合) 日本事務局
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町 3-1-2
神戸ポートビレジ 4 棟 201
Tel 050-3541-1880
Tel 078-303-6321
<http://ifu-japan.net>
info@ifu-japan.net



* 研修先の様子、留学中の学生の様子等、最新情報を随時投稿しています。



* 当方が行っている海外大学進学説明会等のご案内をさせていただきます。